

丸の内ビジョン概要



1 丸の内ビジョン概要  2p

2 震災発生時の丸の内ビジョンの対応  4p

3 震災時の様子  5p

4 災害時に於ける運営体制  6p

5 今後の展開について  7p

>> 概要

開始 2002年9月の丸ビル開業と同時に、丸の内の街メディアとして運営を開始。デジタル・ハイビジョン映像方式によるエリア放送は当時世界初の試み。

放送センター 丸ビル7階の放送センターで一括管理・制御し、丸の内・大手町・有楽町エリアへ映像配信。

ネットワーク 丸の内ダイレクトアクセスの光ファイバー網により、大容量データも安定的に送出可能。

モニター数 大丸有エリアに合計90台のモニターを設置（2014年12月末現在）

>> 放映時間 他

放映時間 午前8時～午後10時（毎日14時間）

放映場所 大丸有エリアに設置のモニターに放映

- 放映内容**
- ①ニュースや天気予報などの利便情報
 - ②災害時の防災放送（地震、台風等）
 - ③エリア情報（大丸有地区の店舗、イベント案内、環境映像等）
 - ④広告（企業CM等）
 - ⑤イベント等のライブ放送

>> 運営方法

事業主体 三菱地所(株)

運営主体 三菱地所プロパティマネジメント(株)に委託、オペレーション業務は専門業者（株）イエローに再委託



▲大手町ビル1F 中央E Vホール
(80インチ)



▲新丸ビル1F 南側2基EVホール
(55インチ)



▲行幸地下通路 中央交差路 新丸側
(42インチ)



▲丸ビル1F マルキューブビジョン
(166インチ)

丸の内ビジョン概要



- | | | | |
|---------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|
| ① 有楽町ビル (2台) | ⑥ 丸の内パークビル (6台) | ⑪ 行幸地下通路 (2台) | ⑬ 大手町ビル (10台) |
| ② 新有楽町ビル (3台) | ⑦ 東京ビル (1台) | ⑫ 新丸ビル (21台) | ⑭ 新大手町ビル (3台) |
| ③ 国際ビル (2台) | ⑧ 丸の内仲通りビル (1台) | ⑬ 三菱UFJ信託銀行本店ビル (1台) | ⑮ 日本ビル (2台) |
| ④ 新国際ビル (1台) | ⑨ 三菱ビル (2台) | ⑭ 丸の内永楽ビル (3台) | ⑯ 大手町フィナンシャルシティ (9台) |
| ⑤ 新東京ビル (3台) | ⑩ 丸ビル (15台) | ⑮ 丸の内オアゾ (3台) | |

2 震災発生時の丸の内ビジョンの対応

3月11日(金) 14:46

宮城県北部で震度7の地震発生

地震発生9分後

14:55

●NHK緊急放送への切替完了 (同放送を翌朝まで休止することなく放映)

モニター周辺状況 →写真有 (次ページ参照)

発生後交通機関が麻痺していた為、翌日の午前中まではかなり多くの人々がビル内に滞留しており、情報源として放送モニターを視聴している人が多かった。

12日(土)

●NHK放送を終日放映

13日(日)

|

●NHK放送を放映

18日(金)

19日(土)

|

●NHKが一部通常放送に戻したため、
NHK放送の地震関連ニュースを放送
●上記以外の番組の際は、共同通信のニュース及び天気予報
(配信契約締結)を差込んで放映

21日(月)

22日(火)

|

●節電対応開始 (全79台の内、約3割の24台のモニター電源OFF)

3 震災時の様子

各モニター周辺の様子



A 丸ビル 1F マルキューブ
3月11日 22:00頃 撮影



B 大手町ビル 1F 中央エントランス
3月11日 16:00頃 撮影

C 新丸ビル B1F EVホール
3月11日 22:00頃 撮影

D 丸ビル B1F商業ゾーン 65インチ前
3月11日 22:00頃 撮影



4 災害時に於ける運営体制

» 【東日本大震災】非常時対応がスムーズに行えた背景

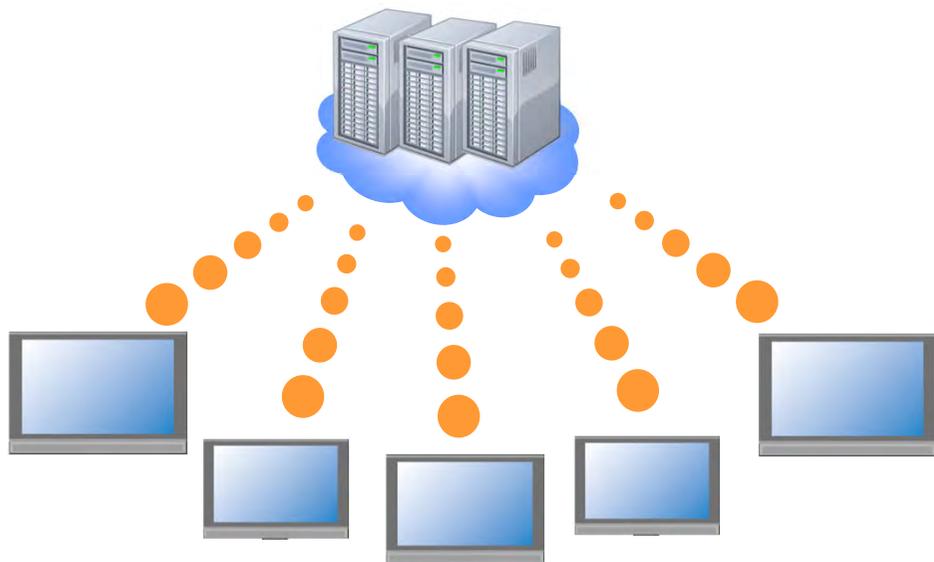
ハード面

①可能なシステムを整備

通常放送ではコンテンツを事前に蓄積配信しているが、切り替えによりストリーミング配信をすることが可能なシステムを搭載

②専用回線によるインフラネットワークを整備

丸の内ダイレクトアクセスと専用回線契約し、通信環境の安定性を確保



ソフト面

③災害時マニュアルの作成

東京都内及び3県（埼玉・神奈川・千葉）にて非常災害発生の際に、NHKの非常災害時緊急放送に切替えるための運営上のルール整備

④災害マニュアルに基づいた訓練の定期的な実施

毎年9月1日（防災の日）に実施

⑤その他の災害発生時

地震以外の台風・集中豪雨などにより大規模な交通障害発生時などの場合も、上記同様の対応を行う。



▲丸ビル2F_シースルーEV横（42インチ）

» 今後の展開

1 モニター設置場所について

丸の内再開発に伴い、モニター設置場所の拡大を検討。

2 機器類の更新について

更新時には2020年東京オリンピック・パラリンピック大会を見据えて計画予定。

3 放送内容の多言語化について

- 今後の検討課題として認識。
- 英語で対応実績あるが、運用面で課題。